

リウマチ性多発筋痛症について

JCHO 宇和島病院 整形外科 友澤 翔

翔



■ リウマチ性多発筋痛症 (PMR)

原因が特にならない肩、腰周囲の筋肉の痛みを起こす高齢者に多い病気です。

病気の名前に「リウマチ」とついてはいますが、PMRは、関節リウマチと違い、関節の周囲を被っている滑膜に炎症が及ぶことは少ないといわれています。一般的に70歳前後に多いとされており、男女比は1対2で女性に多いとされています。

■ 症状

大きくは全身の症状、筋肉の症状、関節の症状に分けられます。

全身症状としては、微熱、食欲不振、体重減少、全身倦怠感、抑うつ症状などがみられます。筋肉の症状としては、約半数は両側の肩の痛みが最初に現れ、ほかにも首、腰、

臀部、大腿などに痛みやこわばりができます。関節の症状として、朝の手のこわばりや関節痛がみられます。特に夜の痛みが多く、夜中に目が覚めてしまうことがよく起こります。手関節などが関節リウマチのように腫れることはあまりありませんが、全くないわけでもありません。

診断 血液でCRP高値、血沈亢進などの炎症反応を認めるのが特徴です。しかし、これといった決め手になる検査がないため、診断は関節リウマチなどのほかの膠原病や感染症などを否定しながら総合的に行われます。

症状がほかの病気にも見られることもあるため、血液検査、全身CT、消化管内視鏡などでほかに病気がないことを調べます。

■ 治療と経過

PMRには、ステロイド薬がとてもよく効きます。しかも、比較的少量で劇的な効果が期待されます。しかし、簡単に減量、中止してしまうと、再び病気が悪くなることがあるので、必ず医師の指示通りの服用をすることが大切です。

■ 合併症

日本人ではまれですが、巨細胞性動脈炎(側頭動脈炎)という、さらに重症の病気があり、この病気では失明するなどの危険があります。

巨細胞性動脈炎の場合には、頭痛などのほかの症状に伴い、少量のステロイド薬では病気を抑えることができず、もっと大量のステロイド薬や免疫抑制剤の併用が必要になることがあります。

からたち句会

吉田短歌会

吉田川柳会

余暇のひととき

濡れ衣は自然乾燥待つとする
紙飛行機同じに折って翔ぶ自由
やさしさの影が想いを募らせる
伝えたい言葉も意味も辞書に無い

毛利 清子
薬師寺絹子
米子 達雄
赤松委沙子

梅雨しとど一日こもりて何すらむお手玉縫ひ
て幼なにもどる
鶯の姿は見えねど冴え冴えと競り合ふ声は
谷間にひびく
ゆるやかに潮さしのぼる川の岸梅雨の晴れ間に映ゆるみどり葉
青梅を潰して遊ぶ幼らの未来の夢を幾重にも重ねむ

奥平美代子
加賀山 愛
岡田 幸子
伊豫路たく磨

旧家でふ土間も引き戸も梅雨湿り
鎧ふものなき沈下橋青嵐
喪に服し人に遅れて更衣
花柄の布地ひろげて梅雨の部屋
朝まだき香は里抱き花みかん
黒南風やあなかしましき旅支度
葉桜の無数の青が輝けり
アカペラのコーラス生徒白いシャツ
人はみな分母と分子さくらんぼ
鵜舟来て火色ゆたかに闇開く
梅雨さびし母郷に雨の降ればなほ
白龍の如く流るる花筏
啄木にかぶれしむかし梅雨の底
風呂の底沈めしむかし麦の秋
蝸牛終生家を守りけり
万緑の島々巡る検診船
更衣真珠のひかる女医の胸

清家 幸子
二宮 洋子
宮川 千穂
児玉 隆子
大谷 重弘
丸内 松美
稲田ひふみ
本田八千代
浜田 京子
土山 吐舟
高崎 清江
芝元 孝子
加賀城燕雀
田中 松江
青野ひろ美
清家矢須子
吉田 欽一